

スプラウト通信

15号

広島県看護連盟 青年部委員会 令和6年1月31日発行

看護連盟会員のみなさん、こんにちは。私たちは広島県看護連盟の青年部委員会です。

2023年5月から新型コロナウイルスが5類となりました。これまで青年部も三密を避けながら活動をしていましたが、数年ぶりの研修開催となりました。今回は新体制となった青年部の活動を紹介します。

青年部ブロックミーティング

11月26日の第1回青年部ブロックミーティングに参加しました。ミーティングはzoomでの参加でしたが、オンラインで全国の青年部会員が一同に集まり、石田議員よりお話を伺いました。今回の講演では、石田議員の師にあたる方を振り返りながら、「看護の自律」について考えさせられる内容でした。今後、働き手が減っていくなかで、多様な働き方を各現場が受け入れていく必要があります。その中で現場の看護がどのように変わるべきか、「自律」とはどういうことかを考えさせられる内容でした。医療の現場で、私たち看護職が自律して働くためにも、法整備・環境づくりが必要であると感じました。



グループワークでは、中四国の青年部4～5名で『若手会員へ組織内候補者認知のためのメッセージや得票数獲得のための具体的な対策』について話し合いました。

他県青年部では、看護大学への『学園祭訪問』や若手会員を集めた『模擬選挙』、インスタライブを行っている支部も……。広島県青年部も負けてられません！！

全国の青年部の皆さんと交流する機会となり、刺激的な研修となりました。

新人会員(3年目以下)研修会



12月8日(金)青年部の企画・運営で新人会員研修会を開催しました。入職3年目以下の会員が対象で参加者100名を超える盛大な研修会となりました。まずは、板谷会長と立石委員長より看護連盟についてお話しいただきました。新型コロナウイルスが感染拡大した際の「コロナ手当」や「国家公務員医療職俸給表(三)の改定」で処遇改善があったこと、その働きかけを看護連盟が担っていたことを知らなかった会員もあり、看護の代表を国政に送ることの大切さを感じてもらえたように思います。

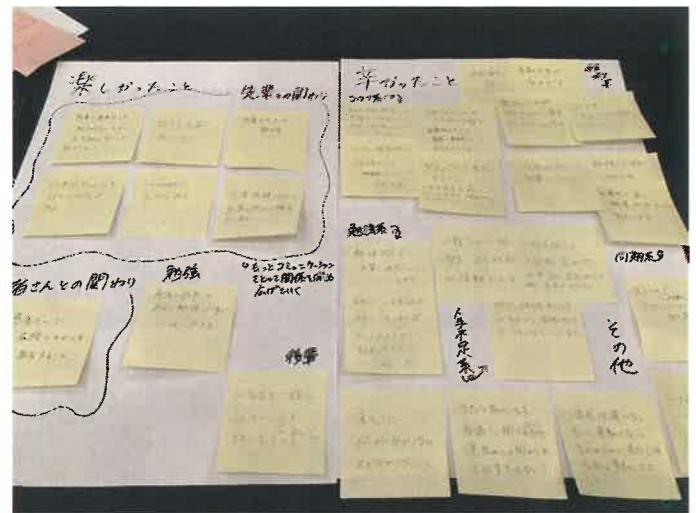


続いて1年目・2年目・3年目に分かれてグループワーク。まずは…アイスブレイク!サイコロを振って出た目のお題に沿ってそれぞれ自己紹介。会話が弾んだところでグループワークに入りました。これまでに体験した「楽しかったこと、つらかったこと」を付箋に書いてもらい、「もっとこうなればいいな」「自分たちで解決できること・できないこと」について意見交換してもらいました。

年数に応じた悩み、仕事や看護に対する思いを聴くことができました。

「他の病院の人たちと知り合えて楽しかった」「自分と同じように悩んでいると知って安心した」など、職場を離れリフレッシュできる時間になったようです。

今回出会ったみんな「顔見知り」。また別の研修で出会って交流できるといいなと感じました!!



青年部からのお知らせ

Instagram 開設しました!!
毎月、輪番制で投稿しています。
たくさんのフォロー・いいね♥ お願いいたします!!



@HIROKAN_SEINENB